

大方高校で命を守る防災授業

7月13日(水)、町で手話を教えている松ぼっくりサークルの米津小巻さんを講師に迎え、同校地域創造コース2年生11名に対して手話の講義および実技講習が行われました。本授業は、災害をはじめとする生命を脅かす事柄に対して、自らの命を守るとともに、他者の命も守る力を身につけるための「ライフセービング」の学習の一環として行われました。

生徒らは、さまざまな障がいの種類や災害発生時の聴覚障がい者への支援について講義を聞いたあと、ジェスチャーや空書、手話などを使った情報の伝え方を学びました。

授業を受けた高橋七海さんは、「災害時、避難所でどう行動したら良いかを学べて良かった。耳が聞こえない方とどう接すれば良いのか、対策を考えていきたい」と話しました。



ジェスチャーをする生徒

ら良いかを学べて良かった。耳が聞こえない方とどう接すれば良いのか、対策を考えていきたい」と話しました。

さが谷三里マーケット5周年・あったかお持ち帰り祭

平成29年に開設した「さが谷三里マーケット」が5周年を迎え、記念イベントが6月17日(金)に集落活動センター佐賀北部で開催されました。

同イベントでは、野菜や鮮魚、惣菜の販売に合わせて、隣接するあったかふれあいセンターこぶしが合同で「お持ち帰り祭」を開催し、焼き鳥やジュースなどの販売が行われました。また、「おはなし玉手箱」による紙芝居の読み聞かせなども行われ、多くの人が訪れました。

同センターの大石正幸まさゆき会長は、「メンバーやスタッフが高齢化してきて人材不足のなか、なんとか5周年を迎えることができた。協力してくれ



賑わう直販所

た地域の皆さんにとっても感謝している。来年も協力をいただきながら続けていきたい」と話しました。

南郷小で麦みそ作り

南郷小学校の2年生12名が7月6日(水)・7日(木)の2日間、麦みそ作りを行いました。

この取組は、同校の「ふるさと・キャリア教育」の一環として令和2年から始まり今年で3回目。

6日(水)には10kgの麦を蒸して麴を入れ、7日(木)にはみそに天日塩を入れてこねたものを容器に詰め、防腐材としてわさび玉を入れ密閉し、麦みその仕込みが完了しました。これから3カ月ほどかけて熟成し、10月に完成する予定です。

同校の山本桔平きっぺいさんは、「楽しい思い出になった。みそが完成したら学校のみんなで食べたい」と話し、また、桑田麻織あさりさんは、「最初は本当にもそが作れるのかと思っただけ、作っているうちに本当



みそをこねる児童ら

にみそになるんだとわかった。みそが完成したら、ヨーグルトなど変わったものに入れてどんな味になるか試してみたい」と話しました。

入野松原保全推進協議会が「美しい森づくり活動コンクール」受賞

入野松原保全推進協議会が「第34回美しい森づくり活動コンクール」で森林レクリエーション協会会長賞を受賞し、6月27日(月)、役場本庁で授賞式が行われました。授賞式には、同協議会の松並勝会まさかつ長や松本敏郎町長らが出席し、四万十森林管理署の藤原達博たつひろ署長より表彰状が贈られました。

同コンクールは、景観の保全・向上のための森林整備、美化のための清掃・ゴミ収集活動などの利用環境の向上のためのボランティア活動や地域創生のための活動を行っている団体などを表彰するものです。

同協議会は、年間を通じて入野松原の保全活動や美化活動、植栽イベントなどを行っており、その活動が評価され、受賞しました。



松本町長(左)と松並会長(中央)と藤原署長(右)

同協議会の松並会長は、「活動の励みとなった。未来につなぐ松原保全を今後も進めていきたい」と話しました。